



広報

まつやま

主な内容

- 特集・鹿島……………4面
- 古着・廃食用油の提供に協力を……………2面
- 市民ガイド……………5~9面
- 松山港まつり 三津浜花火大会……………10面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山

どんどん 広がれ! 緑のじゅたん

—子どもと地域をつなぐ園庭芝生化—



坂本幼稚園児らと一緒に芝生の苗の植えつけに汗を流す野志市長

園児や地域の親子がのびのびと遊べる環境をつくろうと、保護者や子ども、地域住民らが協力して芝生を植えて育てる「幼稚園・保育所の園庭芝生化事業」。6月17日の坂本幼稚園を皮切りに、石井・山越保育園の3園で芝生の苗が植えられました。

芝生に集う みんなの笑顔

6月17日朝、前日からの雨が降り続く中、坂本幼稚園の園庭に園児27人をはじめ、保護者、坂本小学校の2・5年生、未就園児親子、地域住民、野志市長ら約100人が集まりました。スコップを手に園児らが庭に出ると、雨がやみ、子どもたちは大はしゃぎ。慣れない手つきながら真剣な表情で、決められた場所にポット苗

3000株を植えていきました。園児らの楽しそうな作業風景を見て飛び入り参加する人もいするなど大勢の人が協力し、約1時間で植え付けを完了。8月中旬には、みんなが待ち焦がれる緑のじゅたんが園庭に広がります。芝生の生育状況や維持管理の様子は、坂本幼稚園のホームページでご覧になれます。

保存してください。いつかまた お役に立ちます

のびのび遊べる環境づくり

近年の子どもたちの体力不足や運動能力、コミュニケーション能力の低下は、戸外においてグループで体を動かして遊ぶ機会が少なくなったことが要因ともいわれています。そこで、子どもたちがのびのびと活動できる環境が必要と考え、わたしの公約でもある「芝生化」を幼稚園・保育所の園庭で試みることにしました。子どもたちが集い芝生で思いきり体を動かす心地よさを味わうことで、豊かな感性が生まれ、コミュニケーション能力の向上や基本的な運動習慣の構築につながると考えています。

これまで芝生というと、生育や維持管理に多くの手間や費用がかかると敬遠されてきましたが、今回の芝生化は、成長が早く丈夫で比較的管理がしやすいとされる「ティフトン芝」を使い、子どもや先生、保護者、地域の皆さんが協力して、植え付けから管理まで一緒に行います。

この活動を通じて、地域で一緒に子育てをしようという機運が高まり、芝生化された園庭が、子どもと地域の絆の場、交流・憩いの場になることを期待するとともに、そこに集う一人でも多くの人に笑顔が広がることを願っています。

松山市長 野志 克仁



仲良く苗を植える親子

子どもたちに喜んでもらいたい

土作りなど大変なこともありますが、子どもたちが楽しそうに植えている様子を見てうれしかったです。これからも地域の皆さんの協力を得て、芝の維持管理をしていきたいです。



アドバイザー 光田 督 さん(久谷町)

芝生の上でいろんなことしてみたい

みんなで芝生を植えるのは、とても楽しかったです。早く芝生の上で、寝転がったり、ジャンプしたりしたいです。それからお友達と一緒にサッカーもしてみたいな。



兵頭 帆風 ちゃん (坂本幼稚園年長)

お問い合わせは、(教) 学校教育課 ☎948-6872・FAX 934-1815へ